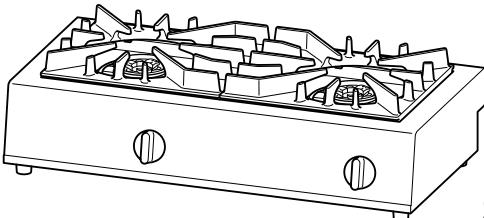


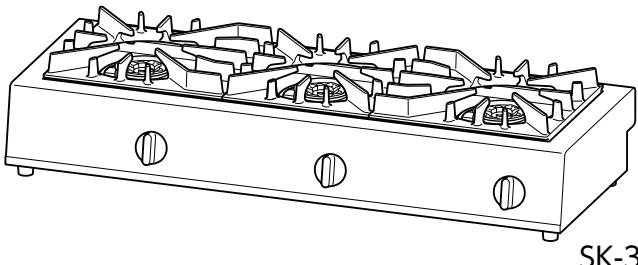
ガステーブルコンロ

SILK ROOM

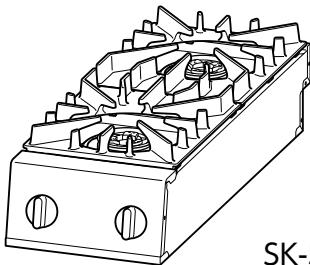
製品名	形式の呼び
ガツツNo.2	SK-2
ガツツNo.3	SK-3
スペースガツツ	SK-5



SK-2



SK-3



SK-5

このたびは、業務用ガステーブルコンロをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

よく読んで安全に正しくお使いください

- ご使用の前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- 本機器は業務用として作られています。一般家庭用には使用しないでください。
- 使用者が代わった場合には、必ずこの取扱説明書を読んでいただき、かつ指導してください。
- 本機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 取扱説明書を紛失した場合は、お買い上げの販売店、またはフリーダイヤルにお問い合わせください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

取扱説明書

業務用

もくじ

1 安全上のご注意

安全上のご注意 1

2 お使いになる前に

使用前の準備 10

各部の名称とはたらき 11

3 使用方法

使用前の準備と確認 13

使用方法 13

日常の点検とお手入れ 15

お客様にて取り替え可能な部品について 15

4 困ったときは

故障・異常の見分けかたと処置方法 16

5 仕様

寸法図 17

仕様 17

6 長期間使用しない場合／

アフターサービス 18

保証書 裏表紙



JG0029-888X01(02)
211100 ©
06000005151130
(工場管理)

1 安全上のご注意 (必ずお守りください)

- 使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示には次のような意味があります。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



火気禁止



分解禁止



接触禁止



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。



換気必要



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

ガス漏れに気づいたら



火気禁止

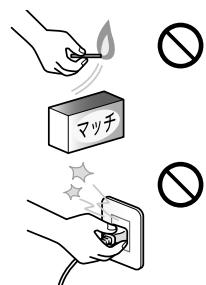
■ 絶対に火をつけない

■ 電気器具（換気扇など）のスイッチの入／切をしない

■ 電源プラグの抜き差しをしない

■ 周辺で電話を使用しない

炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



■ すぐに使用を中止する

① 器具栓つまりを戻して、火を消す。



② ガス栓を閉める。

③ 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。



④ 外に出て、もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。



●安全上のご注意（設置編）



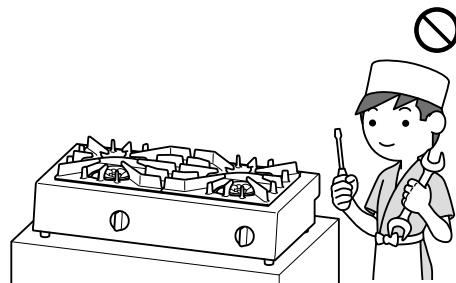
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



分解禁止

修理・改造・分解禁止

- お客様ご自身では工具を使用して絶対に分解したり修理・改造は行わない
 - 一酸化炭素中毒や火災および機器故障の原因になります。
 - 修理・改造・分解は高度な専門知識が必要です。

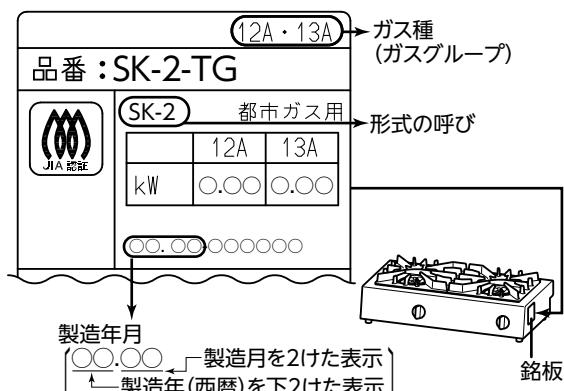


■機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）以外のガスでは使用しない

- 表示のガス種が一致していない場合、不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する原因になりますので、使用しないでください。
- 転居されたときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。
- 銘板は機器本体右側面に貼ってあります。供給ガスの種類がわからない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりのガス事業者にお問い合わせください。

※銘板は本体内部（右側面）にも貼ってあります。

〈例〉SK-2（銘板12A・13Aの場合）



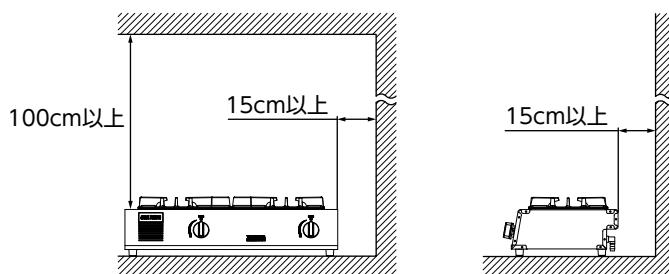
周囲の防火措置

■可燃物との距離を確実に離す

火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。
距離が近いと火災の原因になります。

■設置後機器の周辺を改装する場合も、可燃物との距離を確実に離す

- 機器上方周囲の壁などが木材のような可燃物の場合
壁から側面は15cm以上、後面は15cm以上、上方は100cm以上必ず離してください。



●安全上のご注意（設置編）

！警告

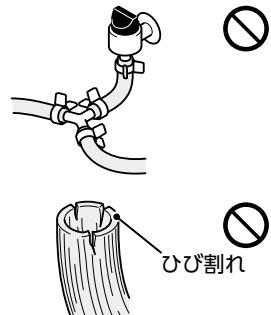
この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



ガス用ゴム管（ソフトコード）は

■ 継ぎたしおよび二又分岐はしない

ガス漏れの原因になります。



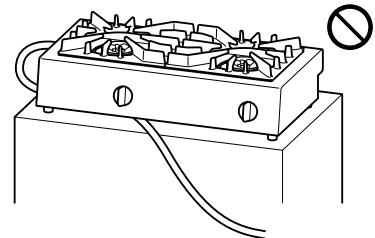
■ ひび割れたり、古くなったガス用ゴム管は使用しない

ガス漏れの原因になります。ときどき点検して古くなった場合は、取り替えてください。



■ 高温部に触れたり、折れたり、ねじれた状態で使用しない

できるだけ短くして使用してください。



■ 機器の下を通したり、炎に近づけない

■ 他の機器で加熱されるような所に通さない

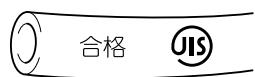
使用時は周囲が高温になり、ガス用ゴム管が溶け、ガス漏れの原因になります。



■ 検査合格または JIS マークの入っているものを使用する

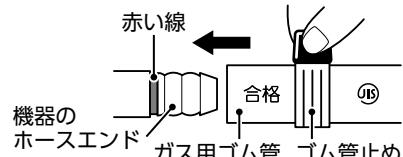
ガス用ゴム管以外は耐久性に欠け、ガス漏れの原因になります。

ビニール管は絶対に使用しないでください。



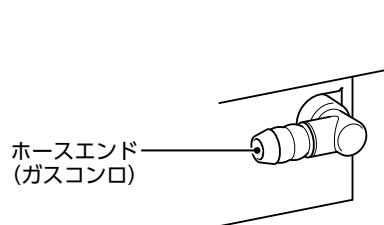
■ ホースエンドの赤い線まで差し込んで、ゴム管止めでしっかりと止める

しっかりと止めないと、ガス漏れの原因になります。



■ ホースエンドの保護キャップをはずし、汚れやゴミがないことを確認する

ガス漏れの原因になります。



 **注意**

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 **設置場所****■ 棚の下など落下物の危険のある場所に設置しない**

機器の上に落ちたものが燃えて、火災の原因になります。

■ 強い風の吹き込む場所に設置しない

点火不良や途中消火・機器内部の損傷の原因になります。

■ 湯沸器の下に設置しない

湯沸器の不完全燃焼防止装置がはたらき、火がつかない場合があります。

また、湯沸器の寿命を縮めます。

■ 照明器具などの樹脂製品の下に設置しない

照明器具のかさなどが変形・変色することがあります。

■ 車両・船舶には設置しない

使用中に機器が傾いたりし、火災・やけどのおそれがあります。

 **■ 水平で安定性の良い丈夫な台の上に設置する**

不安定な所や傾いた所に設置すると、機器が傾いて、やけどやけがのおそれがあります。

●安全上のご注意（使用編）

！警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

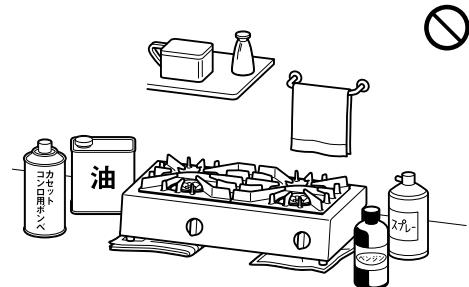
近くに置いてはいけないもの



■爆発のおそれがあるもの

熱で缶内の圧力が上がり、爆発のおそれがあります。

- スプレー缶
- カセットコンロ用ボンベなど



■燃えやすいもの

火災の原因になります。

- 機器の上方の調味料ラックなど
- ペットボトル・プラスチック類
- ふきんやタオル・調理油など

■引火しやすいもの

火災の原因になります。

- スプレー・ガソリン・ベンジンなど

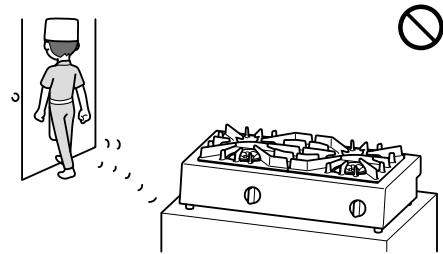
使用中は



■機器から離れない

■就寝・外出をしない

- 調理中のものが異常過熱し、火災の原因になります。
特に揚げものをしているときは注意してください。
- 電話や来客の場合は、必ず火を消してください。



■火がついたまま持ち運ばない

火災・やけどの原因になります。

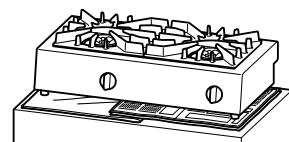


機器の下には

■燃えやすいものを敷かない

火災の原因になります。

- 新聞紙・ビニールシートなど

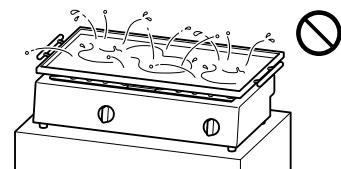


使用してはいけないもの



■コンロをおおうような大きな鉄板・たこ焼き器や 26cmを超える鍋

一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。

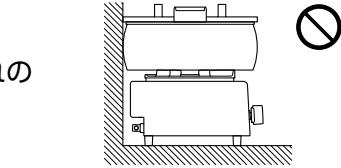


■ホースエンドをおおうような鍋や調理器具

ガス用ゴム管（ソフトコード）の劣化やホースエンドからのガス漏れの原因になります。

■機器に付属または機器指定以外の補助具 (アルミはく製しる受け・省エネごとく・ グリル補助具など)

一酸化炭素中毒や機器の異常過熱のおそれがあります。



■焼網

トッププレートに落ちた油などが発火したり、機器の異常過熱のおそれがあります。





- 使用中は、身体や衣服が炎に近づかないように注意する
衣服に炎が移ってやけどのおそれがあります。
鍋を動かすときは注意してください。



使用時や使用後は

- 点火・消火の確認をする
- ガス栓を閉める
消し忘れによる火災の原因になります。



異常時は

- 器具栓つまみを戻して、火を消し、ガス栓を閉める
 - 地震・火災・異常な燃焼・臭気・異常音を感じたときは、すぐに使用を中止してお買い上げの販売店に点検をお申し付けください。
 - 故障または破損したと思われた場合は、使用しないでください。
万一機器の具合が悪くなった場合は、「故障・異常の見分けかたと処置方法」をご確認ください。
 16ページ



この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

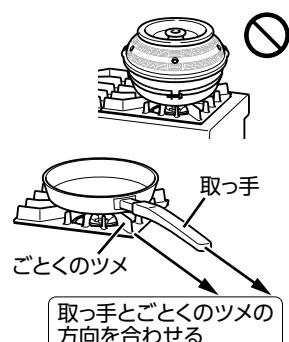


- 操作部には強い力を加えない
強く手で押さえると、けがや機器損傷・誤作動の原因になります。
- 操作部には水や洗剤を直接かけない
特に強アルカリ洗剤は、器具栓などの機能部品の誤作動や損傷の原因となります。



使用的する鍋などについて

- 石焼いもつぼなどの空焼きをする調理具は使用しない
異常過熱による機器損傷の原因になります。
- 片手鍋や小径鍋・へこんだ底・丸い底・滑りやすい底の鍋は不安定な状態で使用しない
鍋が傾いたり、滑ってやけどのおそれがあります。
鍋の取っ手はごとくのツメと同じ向きに置いて機器手前に
はみ出さないようにし、中華鍋などの丸底鍋は取っ手を持って
調理するなど、安定した状態で使用してください。



- 陶器製鍋を使用する場合は、長時間の使用は避け、中火以下の火力で使用する
異常過熱による機器損傷の原因になります。

●安全上のご注意（使用編）

△ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



接触禁止

■ 使用中・使用直後は器具栓 つまみ以外は触らない

やけどのおそれがあります。
触らないよう注意してください。



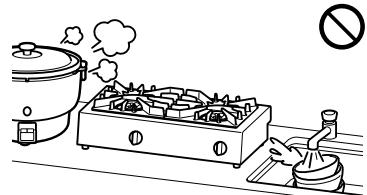
■ 点火するときや使用中は、 バーナー付近に顔を近づけ ない

炎や熱でやけどのおそれがあります。



■ 水や蒸気のかかる所や他の熱源（調理器・焼物 器など）の近くでは使用しない

故障の原因になります。



使用中は



■ 調理以外に使用しない

衣類の乾燥や練炭の火起こしなどをすると、火災や機器損傷の原因になります。

■ 機器に風を当てる

扇風機やエアコンなどの風が当たると点火不良や途中消火、機器内部の損焼の原因になります。



換気必要

■ 換気扇を回すか、窓を開ける

換気をしないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。

下記の場合は、換気扇を回さずに窓を開けてください。

- ・屋内設置（密閉式は除く）の給湯器を使用している場合
- ・屋内設置のふろがまを使用している場合

換気扇を回すと、給湯器やふろがまの燃焼排ガスが逆流して、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



■ 点火しない場合は、器具栓つまみを戻して消火の状態にし、 周囲のガスがなくなってから再度点火する

すぐに点火操作をすると周囲のガスの引火して、衣服に燃え移ったり、
やけどのおそれがあります。



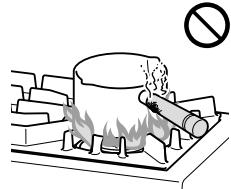
■ 乳幼児や子供に触らせないように注意する

やけどやけがなど思わぬ事故の原因になります。



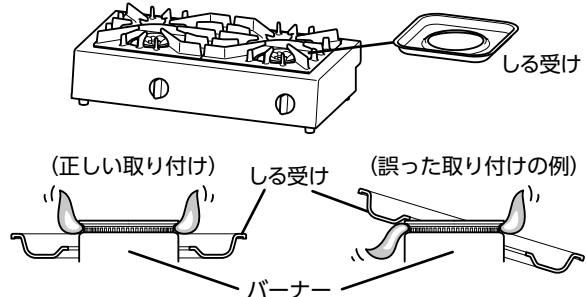
■ やかんや鍋などの大きさに合わせて、火力を調節する

火力が強いと取っ手が焼損したり、手を触るとやけどのおそれがあります。



■ しる受けは、確実に取り付ける

バーナーの炎がしる受けの下にもぐり込み、火災や機器焼損の原因になります。しる受けの上面が、バーナーより下になるように取り付けください。



機器の点検・お手入れ・まわりのお掃除の際は

■ 機器を水につけたり、機器に水をかけたりしない

不完全燃焼・故障の原因になります。



■ 機器が冷めていることを確認する

使用後は高温のため、触ると、やけどのおそれがあります。

■ ガス栓を閉める

誤って点火した場合、やけどのおそれがあります。

■ 必ず、手袋をする

手袋をしないと、けがのおそれがあります。

■ バーナーキャップに煮こぼれがかかったときは、必ずお手入れする

■ バーナーキャップを水洗いしたときは、水気を十分ふき取ってから取り付ける

炎口がぬれたまま使用すると、点火しなかったり、異常燃焼の原因になります。



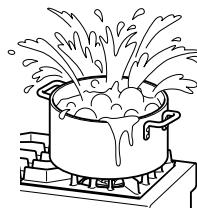
お願い

機器のご使用は

- 使用中もときどき正常に燃焼していることを確認してください。
- 火力を弱火にしたときは、消し忘れに注意してください。
- ガス栓を操作して火を消さないでください。
やけどや思わぬ事故の原因になります。
- 使うバーナーの器具栓つまみを間違えないように注意してください。
- 調理中に鍋をのせかえるときは、いったん火を消してください。
- 強火で長時間使用すると土鍋やホーローなど、鍋の種類によっては、ごとくがくっつくことがあります。
長時間使用した後に鍋を動かすときは、鍋とごとくがくっついていないことを確認してください。
ごとくがくっついた場合は、速やかに元の位置に戻し、機器が冷めてから鍋をゆするなどしてごとくをはずしてください。くっついたまま動かすと、不意にごとくが落下することがあり、やけどやけが・機器損傷のおそれがあります。
- 煮こぼれに注意し、火力を調節してください。
煮こぼれすると機器内部が汚れます。また、しる受け・ごとく・バーナーキャップなどに煮こぼれが焼きついたりして、機器を傷めるおそれがあります。

突沸現象について

- カレー・ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などを煮たり、温めたりするときは、突沸に注意してください。



突沸現象とは？

- 突然に沸とうする現象です。水・牛乳・豆乳・酒・みそ汁・コーヒーなどの液体を温めるときにささいなきっかけ（容器をゆする・塩・砂糖などを入れる）で生じます。
この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけが・機器損傷のおそれがあります。

予防方法

- カレー・ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁物の温めは、弱火でかき混ぜながら加熱してください。（強火で急に加熱しない）
- 熱い汁物に、塩・砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行ってください。
- 鍋の大きさにあった火力で加熱してください。

2 お使いになる前に

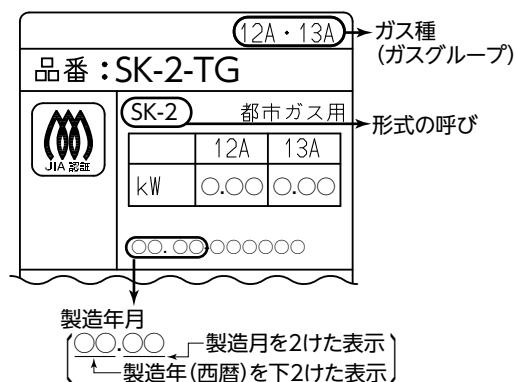
● 使用前の準備

使用ガスを確認する

機器本体の右側面に貼り付けている銘板に表示しているガスの種類と、使用するガスが一致していることを確かめてください。

※銘板は本体内部（右側面）にも貼ってあります。

〈例〉SK-2（銘板12A・13Aの場合）



ガス接続および設置を確認する

■ ガス栓

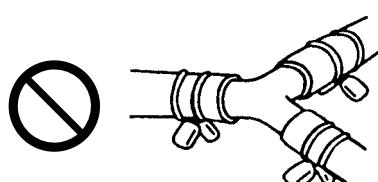
- 専用のガス栓を設けてください。
- 機器を使用する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても位置や寸法などが適切でない場合は、ガス栓の新設・移設、または交換などが必要です。お買い上げの販売店またはガス事業者にご相談ください。

■ ガス接続

- ガス接続口径はφ9.5mmのホースエンドになっています。
- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短くしてください。（2m以下で適当にゆとりを持たせる）

また、機器の下を通したり、機器に触れたりしないようにしてお使いください。

- ゴム管は、ホースエンドの赤い線まで差し込み、ゴム管止めで確実に止めてください。
- ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐は行わないでください。



- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。（ビニール管は弾力性がなく、熱にも弱いです）また、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるゴム管は必ず取り替えてください。

- ヒューズコック（ヒューズ付ガス栓）をご使用の場合は、ガス種・ガス量に適したヒューズコックをお選びください。
- SK-3をご使用の場合は、ガス栓はヒューズ作動流量が1.2m³/h以上または使用する機器のガス消費量以上のものを使用してください。

※ガス栓の表示例

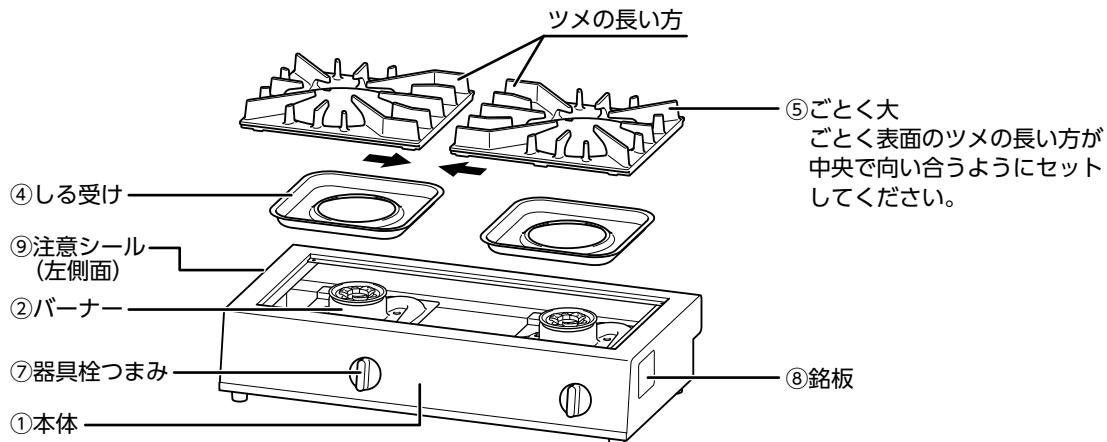
都市ガス（13A・12A）：1.2
LPガス：消費量15kW

■ 設置

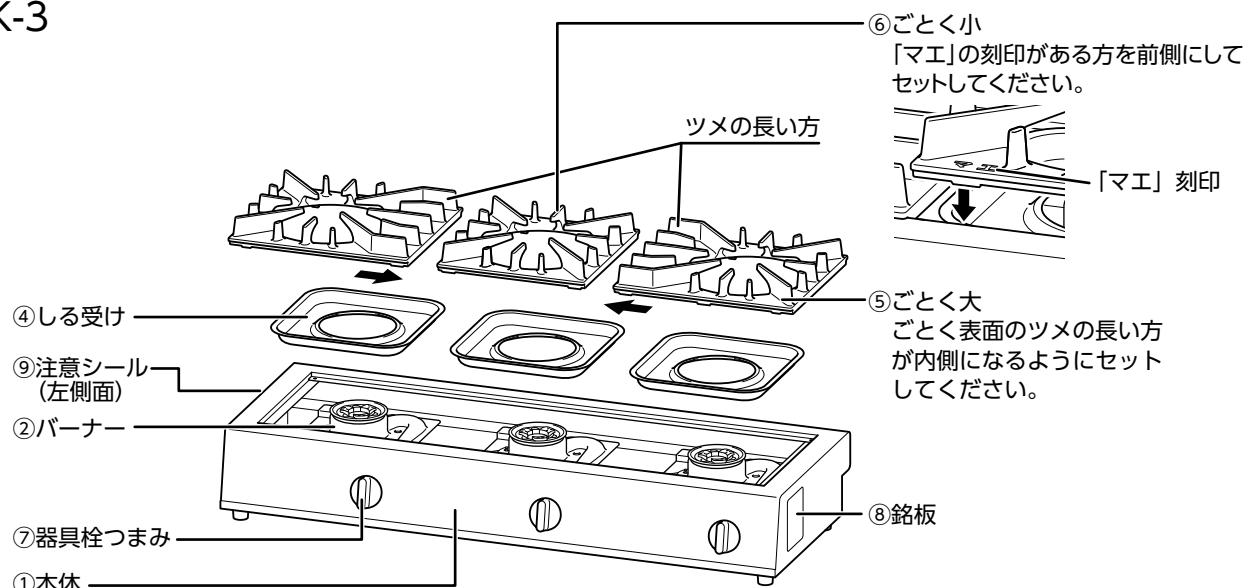
- 機器は水平になるように設置してください。
- 耐久性などの点から、湿気の少ない所に設置してください。
- 使用場所の換気口（給気口・排気口）は常に確保し、物などでふさがないでください。

●各部の名称とはたらき

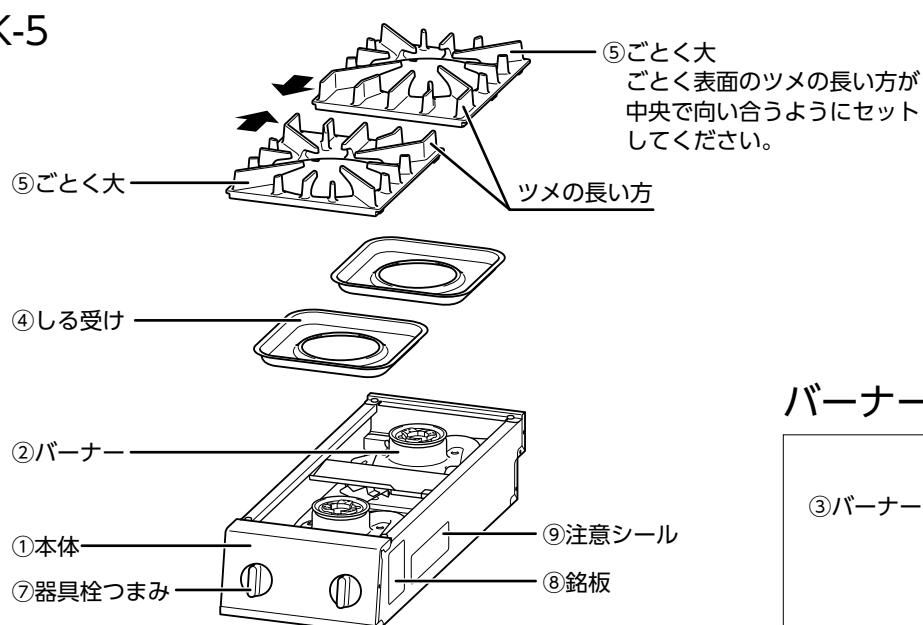
SK-2



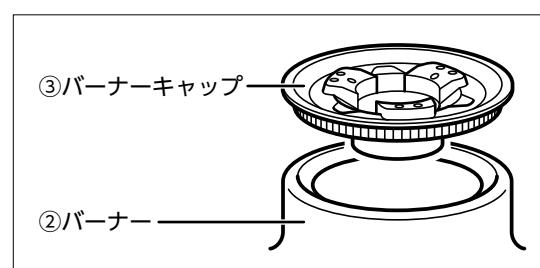
SK-3



SK-5



バーナー部



No.	部品名称	型 式			はたらき
		SK-2	SK-3	SK-5	
		数 量			
①	本 体	1	1	1	バーナー・しる受け・ごとくを受けている部品
②	バ ー ナ ー※	2	3	2	ガスと空気を混合する部品
③	バーナーキャップ※	2	3	2	バーナーの上に装着して、安定した炎を出す部品
④	し る 受 け	2	3	2	ふきこぼれた汁などを受ける部品
⑤	ご と く 大	2	2	2	調理する際に鍋などを受ける部品
⑥	ご と く 小	0	1	0	調理する際に鍋などを受ける部品
⑦	器 具 桟 つまみ	2	3	2	火力調節用のつまみ
⑧	銘 板	1	1	1	形式の呼び・ガス種・消費量などを表示している部品
⑨	注 意 シ ー ル	1	1	1	注意事項などが書かれているシール

※バーナー・バーナーキャップは消耗品になります。(18 ページ参照)

部品の装着

- 各部分のあて紙や梱包部材を取り除き、部品を確認してください。

部品の装着

●しる受け

トッププレートにガタつきのないよう、のせてください。

お願い 炎がしる受けに接触しないことを確認してください。

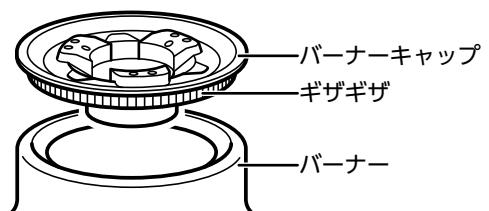
●ごとく

ごとくの裏面のツメが、しる受けに乗り上げないように取り付けてください。

●バーナーキャップ

- バーナーキャップは、ギザギザが下になるように取り付けてください。
- 取り付けるときは、バーナーキャップを2~3回、回してバーナーとの間に浮き・傾きがないように取り付けてください。

お願い バーナーキャップを取り付けた後、必ず正常に燃焼しているかどうか確認してください。



3 使用方法

●使用前の準備と確認

■準備

- 器具栓つまみが「閉」の位置にあることを確認してから、ガス栓を「全開」にしてください。

■確認

- 機器の近くには、紙・プラスチック・油類やスプレー缶など燃えやすいものが置いていないこと。
- ゴム管がひび割れしたり、機器に触れたり、極端に折れ曲がっていないこと。
- 送風付暖房器具を使用される場合、温風排気ガスが直接機器に当たらないようにしてください。

●使用方法

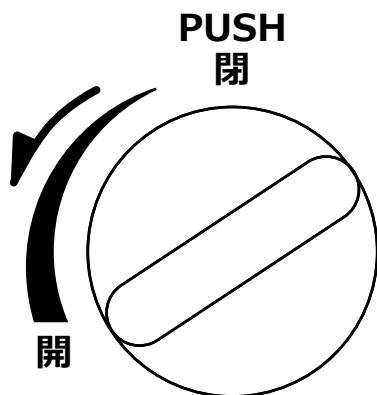
長時間使用していなかったり、朝一番などはじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて、点火しにくいことがあります。空気が抜けるまで、数回点火操作を繰り返してください。

お願い

- ガス栓を開く際には、機器が接続されていないガス栓を誤って開いたり、他の機器のガス栓を操作しないよう十分注意してください。
- 点火確認をするときは、バーナー部に顔を近づけないようにしてください。

点火

- ①器具栓つまみを押しながらゆっくり左方向へ「カチン」というまでいっぱいに回し、保持します。
- ②バーナーへ着火したことを確認し、器具栓つまみから手を離してください。



お願い

- 点火の際は、こんろに鍋や、やかんをかけて点火し、全部の炎口に着火したことを必ず確認してください。

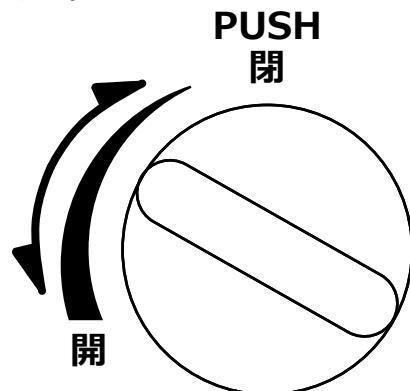
火力調節

- 器具栓つまみを回して、調理に適した火力でお使いください。

お願い

炎を小さくしすぎると、風などで消えることがあります。

弱火にするときは、ゆっくり調節してください。急に火力を調節すると、消火することがありますので、必ず着火していることを確認してください。



- 鍋によっては、取っ手を焼損するおそれがありますので、必ず炎の大きさを見て火力を調節してください。
- 煮こぼれは火を消したり、バーナーや機器を早く傷めますので、一度煮立ったら、沸とうが続く程度の火力にしてご使用ください。

お願い

炎が異常に大きかったり、変な音をたてていませんか？

炎が赤かったり、すすぐついたり、ふぞろいで音をたてたりするときは、バーナーキャップが正しく取り付けられていないことが考えられます。お手入れの後などは、正し取り付けているか確認してください。

消火

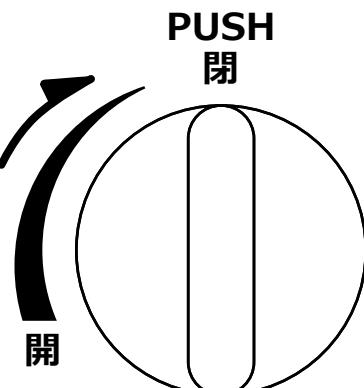
- 器具栓つまみを右いっぱい「閉」の位置まで確実に回して、火が消えていることを確認してください。

- 器具栓つまみを完全に「閉」の位置まで回さないと、ガスが漏れたりして危険です。

お願い

使用直後は、器具栓つまみ以外は高温です。触らないでください。

- バーナーは、消火時に「ポン」という音がする場合がありますが、これは火が消えた時の音で、異常ではありません。



使い終わった後

- 器具栓つまみが「閉」の位置にあることを確認し、ガス栓を「全閉」にしてください。

●日常の点検とお手入れ

まず確かめてください。 ①ガス栓が閉まっている。 ②機器が冷えている。

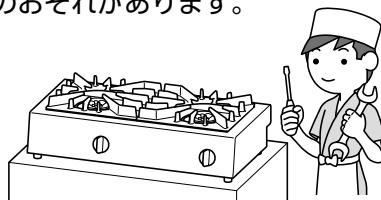
! 警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

火災・ガス漏れのおそれがあります。



分解禁止



! 注意

- 機器を水につけたり、機器に水をかけたりしない

不完全燃焼・故障の原因になります。



■点検

- ゴム管はガス用ゴム管（検査合格またはJISマークの入ったもの）を使用し、機器のホースエンドおよびガス栓とも赤い線まで十分に差し込んであるか点検してください。
- ゴム管が古くなつてひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるために、ガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 機器の近くに、紙・プラスチック・スプレー缶・油類などの可燃物を置いていないか点検してください。
- バーナーキャップ・ごとく・しる受けなどが正しく取り付けられていますか。
- バーナーが煮汁などで詰まつていませんか。

■お手入れ（お手入れの際は、けがをしないように手袋などをはめて行ってください。）

使って良いもの	●中性洗剤	●やわらかい布	●スポンジたわし
使ってはいけないもの	●酸性・アルカリ性の洗剤 ●クレンザー（みがき粉）	●アルコール・シンナー・ベンジン ●金属たわし・ナイロンたわし・金属ヘラ	

●機器本体の表面・ごとく・しる受け

- 中性洗剤でお手入れした後、乾いた布で十分水気を取ってください。
汚れたままにしておくと、煮汁などで早く傷めます。

●バーナー

- ガスを有効にお使いいただくためには、バーナーキャップ・バーナーのお手入れが大切です。バーナーの炎がふぞろいになったときには、炎口をブラシや針金などで掃除してください。
- バーナーキャップを水洗いしたときは、必ず水気を取ってから正しく取り付け、正常に燃焼するか確認してください。
- バーナー本体は取りはずしきできません。
バーナー本体の表面のみお手入れしてください。



お願い

- お手入れした部品は、正しく取り付けられているか確認してください。
- 機器本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなつたときは、柔らかい布などで汚れをふき取ってください。また、お手入れの際には、はがれないようご注意ください。はがれたり、読めなくなつた場合は、お買い上げの販売店、またはフリーダイヤルに連絡してラベルを購入し、貼り替えてください。

●お客様にて取り替え可能な部品について

お買い上げの販売店、またはフリーダイヤルでお買い求めください。

●バーナーキャップ

- バーナーキャップが目つまりや変形、破損した場合は、新しいものをお買い求めください。

●ごとく・しる受け

- 変形・破損した場合は、その部品をお買い求めください。

4 困ったときは

●故障・異常の見分けかたと処置方法

⚠ 警告



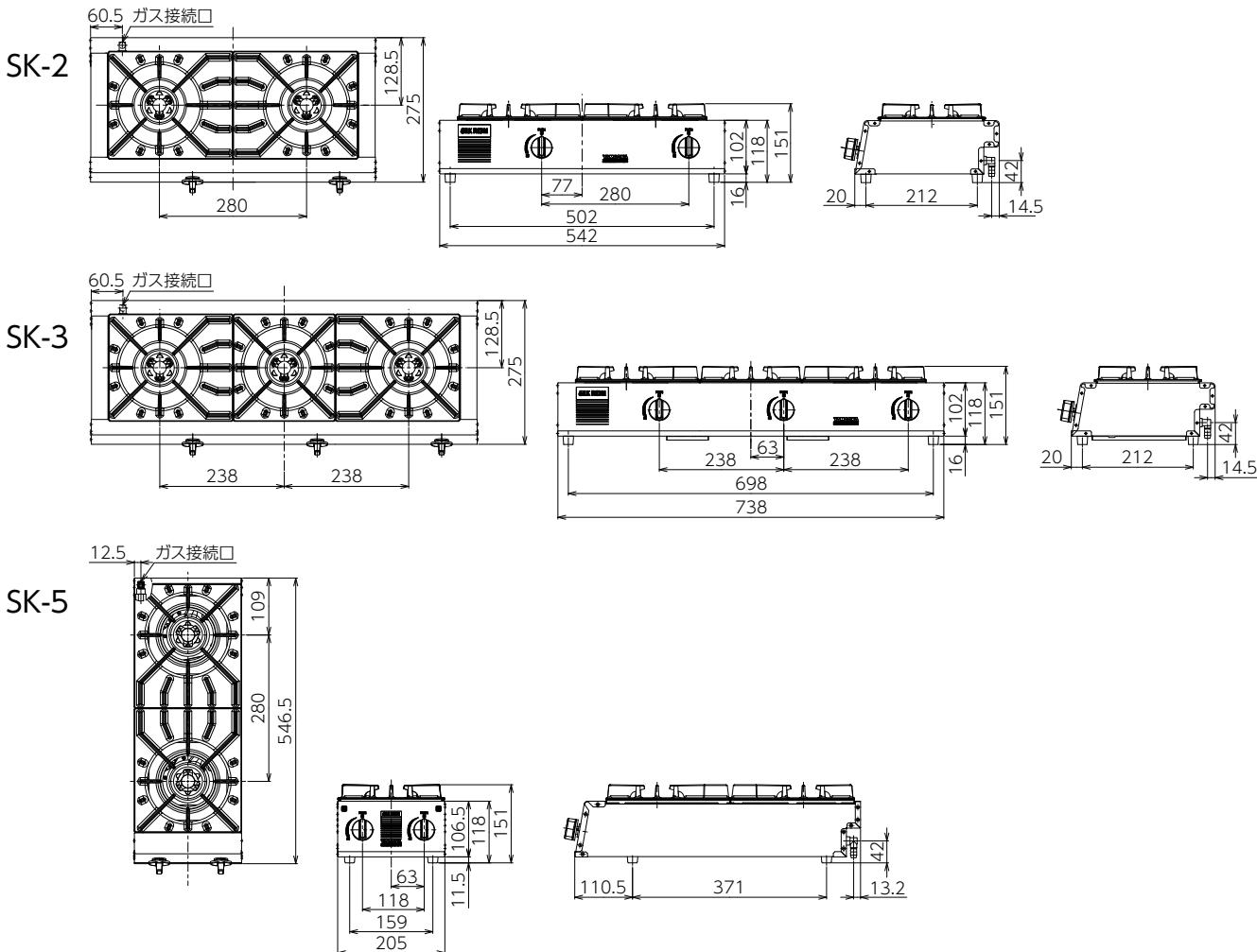
■ 使用中に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、あわてず、ガス栓を閉める。

こんなとき (現象)		点火しない・点火にくい	着火(火移り)しにくい	異常に点火する	黄炎で燃える	炎が安定しない	異常な音をたてて燃える	使用中に消火した・消火しやすい	処置方法
お調べ いただくこと (原因)									
ガス栓の開き忘れ・開き不十分		●	●	●		●			器具栓つまみの「閉」位置を確認してから、ガス栓を全開にする。
ゴム管内に空気が残っている		●							ガスが正常に出るまで、十分注意しながら点火操作を繰り返す。
ガス圧が適切でない	低い	●	●	●		●	●	●	他の機器も同様の場合は、点検を依頼する。
	高い	●	●		●	●	●		
ゴム管の折れ曲がり・つぶれ		●	●	●		●		●	ゴム管の折れ・曲がりを直す。
ヒューズコックへの差し込み不足		●	●	●		●		●	ゴム管を十分に差し込む。
ヒューズコックの作動		●						●	ガス栓を1度閉めてから開く。(2~3回繰り返す)
点火装置の電極部の汚れ		●							汚れをふき取る。それでも直らないときは、点検を依頼する。
バーナー炎口づまり・空気口づまり			●	●	●	●	●	●	つまりを取り除く。それでも直らないときは、点検を依頼する。
バーナーキャップの取り付け不良			●	●	●	●	●	●	正しく取り付ける。
点火操作が適切でない		●							「使用方法(点火)」参照。
点火装置のリード線の接続		●							点検を依頼する。
点火装置の故障		●							点検・修理・部品交換を依頼する。
機器の銘板と使用ガスが不一致		●	●	●	●	●	●		調整・改造を依頼する。

以上のことをお調べのうえ、なお異常があるときは、お買い上げの販売店、またはフリーダイヤルに連絡してください。

5仕様

●寸法図 (単位mm)



●仕様

■仕様

製品名	ガツツNo.2	ガツツNo.3	スペースガツツ
品番	SK-2-TG SK-2-LP	SK-3-TG SK-3-LP	SK-5-TG SK-5-LP
形式の呼び	SK-2	SK-3	SK-5
外形寸法	幅542×奥行275×高さ151(mm)	幅738×奥行275×高さ151(mm)	幅205×奥行546.5×高さ151(mm)
質量(本体)	6.5kg	8.9kg	6.8kg
ガス接続	Φ9.5mmガス用ゴム管		
点火方式		圧電点火(押し回し)	
最大鍋径		26cm	

■ガス消費量

ガス種 (ガスグループ)	形式の呼び	SK-2		SK-3		SK-5	
		個別点火時	全点火時	個別点火時	全点火時	個別点火時	全点火時
L P ガス用	SK-2	3.36kW	6.72kW	3.36kW	10.1kW	3.36kW	6.72kW
都 市 ガス用	13 A	3.72kW	7.44kW	3.72kW	11.1kW	3.72kW	7.44kW
	12 A	3.49kW	6.98kW	3.49kW	10.4kW	3.49kW	6.98kW

*仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

6 長期間使用しない場合／アフターサービス

●長期間使用しない場合

各部の汚れを取り除き、ほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分には、ほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

●アフターサービス

サービス（点検・修理）を依頼される前に

- 「故障・異常の見分けかたと処置方法」（16 ページ）を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合がある場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、またはフリーダイヤルにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

①製品名・ガスの種類	④ご住所・建物名・部屋番号・お名前・電話番号・道順
②品番（銘板表示のもの）	⑤訪問ご希望日
③故障または異常の内容（できるだけ詳しく）	

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居または移設される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、転居先のガス事業者にご相談ください。
- この場合、保証期間内でも、調整・改造に要する費用は有料となります。
ただし、ガスの種類によっては調整できない場合があります。

保証について

- 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ日より「1ヶ年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。

①誤った使い方をされたときの故障	②移動によって生じた損傷・故障
③改造された場合の故障	④天災による損傷・故障
- ※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

消耗品

- 消耗品は、保証期間中でも有償となります。（12 ページ参照）

補修用性能部品の保有期間にについて

- 製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店、またはフリーダイヤルにご連絡ください。

 0120-47-2351

お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく業務の履行または、権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

保証書

品名	業務用ガステーブルコンロ	SK-2・SK-3・SK-5
----	--------------	----------------

このたびは当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

<無料修理規定>

- 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、下記保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店または当社が無料修理致します。
- 保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または当社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本書は日本においてのみ有効です。(This warranty is valid Only Japan.)
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
(ハ) 火災、塩害、地震、風水害、煤煙、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、ねずみ、鳥、昆虫類の侵入およびその他の天災、地変による故障および損傷。
(ニ) 取扱説明書等に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障および損傷。
(ホ) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
(ヘ) 塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
(ト) 機器に表示してあるガス種(ガスグループ)以外のガス種(ガスグループ)で使用された場合による故障および損傷。
(チ) ガス・電源供給事情による故障および損傷。
(リ) 本書の提示がない場合。
(ヌ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入捺印がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(ル) 消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
(ヲ) ご転居などによる熱量変更に伴なう改造・調整の場合。

お客様	お名前	TEL
	ご住所	

保証期間	お買い上げ	年 月 日から 1 年間
------	-------	--------------

販売店	お名前	TEL
	ご住所	

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがい、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間にについて詳しくはアフターサービスについてをご覧ください。

YAMAOKA
山岡金属工業株式会社

本社
〒570-8585 大阪府守口市東郷通2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045



JG0029-888X01(02)
211100 ○

(工場管理)

0600005151130